

# 今後の進め方について

---

## 第4回検討会の開催内容について

項目	内容(予定)
日時	平成25年2月19日(火曜日) 13:00~14:00
次第	開催挨拶 第3回検討会議事録の確認 議事 (1)中間取りまとめ(案)について (2)今後のスケジュール 閉会挨拶

## 下水道事業のベンチマーキングに関する国際セミナーの開催内容について

項目	内容(予定)
日時	平成25年2月19日(火曜日) 15:00~18:00 ※第4回検討会開催後
出席者	本検討会出席者 ※案内通知によるその他参加者を募集予定
基調講演者 パネリスト等	Ms. Maria Salvetti, ONEMA (フランス水庁エコノミスト) Mr. Chris Adam, STRATEGIC AM社 (アセットマネジメントのベンチマーキングツール<Aqua Mark>の開発 コンサルタント) 国内の学識者、地方公共団体の代表者等
次第	(1)フランスの事例: ONEMAの全国水事業体ベンチマーキングについて(仮題) (2)オーストラリアの事例: ベンチマーキングツールを用いたアセットマネジメントの改善について(仮題) (3)国内の専門家を交えたパネルディスカッション (4)質疑応答・意見交換

下記項目について、全国の下水道管理者に周知していく観点から、簡潔なとりまとめ資料を作成する予定。

1. ベンチマーキング導入の目的	
(1)ベンチマーキングとは	ベンチマーキングの歴史 国内・海外での実施例等
(1)下水道界の現状と方向性	成熟下水道、国際水ビジネス展開 定量的な進捗状況把握の必要性、課題把握の必要性
(2)ベンチマーキング導入の目的	下水道事業のPDCAを用いた自律的改善・向上の促進 マネジメントに必要なリソースの獲得 国際水ビジネス展開に係る国際的評価への対応
2. 業務指標(PI)の選定	
(1)業務指標(PI)のカテゴリ	重要な施策: 防災・減災、水環境、維持管理・ストックマネジメント、経営、資源・エネルギー、広報、その他
(2)業務指標(PI)選定方針	留意点: 妥当性、安定性、客観性、公正性、測定容易性
(3)業務指標(PI)案	抽出された業務指標(PI)案、まとめ方の例
3. 今後の検討方針	
(1)検討課題	定義の明確化 集計の方法 データ取得方法・精度の向上 国際ベンチマーキング事例との比較 ベストプラクティスの把握・公表方法
(2)ベンチマーキング試行	試行実施のイメージ 全国展開までのスケジュール

平成25年度

上半期

下半期

平成26年度  
以降

## 課題の検討

- 定義の明確化
- データ収集の方法
- データ整理の方法
- 公表の方法

等



**【試行】**  
課題が解決した  
指標について、  
試行的に  
都道府県、  
政令指定都市等を  
対象に、  
データ収集、整理、  
公表

※ 中小規模の  
地方公共団体の意見を  
くみとる機会を設ける。



平成25年度の  
試行の結果を  
ふまえ、  
全国展開を図る。